



【令和3年度予算（案） 15,950百万円（17,871百万円）】

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります

1. 事業目的

- 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

2. 事業内容

* : 国際観光旅客税を活用した事業 ** : R2年度3次補正事業

2016年に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、国立公園訪日外国人利用者数は2019年に約667万人まで増加。しかし、**2020年に新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅に減少**し、国立公園の観光地では大きな打撃が生じている。これを踏まえ、**国内外の利用者の復活に向け、受入環境整備やワーケーション等の新たな利用推進**を図る。あわせて、国民公園の魅力向上を図る。

- ・国立公園・温泉地等での滞在型ツアー・ワーケーション推進** : ツアー等の企画・実施、Wi-Fi等の環境整備支援、国内外向けプロモーション等
- ・滞在環境の上質化/多言語化* : 廃屋撤去等の景観改善、多言語解説の整備・充実等
- ・滞在型コンテンツの創出* : グランピング等のコンテンツの造成・提供体制整備等
- ・基盤的な利用施設の整備/長寿命化 : ビジターセンター・登山道の再整備、デジタル展示*等
- ・受入環境・体制の向上/山小屋支援 : 自治体・民間団体等の連携促進、利用者負担による保全の仕組みづくり、旅行博等への出展等/山小屋施設改修支援等
- ・新宿御苑や京都御苑の魅力向上* : ワーキングスペース設置、国立公園等環境施策のPR等

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業/交付金/補助金
- 請負先 民間事業者・団体/都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

4. 事業イメージ



廃屋撤去跡地の新たな民間事業導入、無電柱化等の景観改善、ワーケーション向けの改修・機能転換

ツアー等の造成支援



グランピングやナイトタイム、野生動物観光等のコンテンツ造成、コンテンツ提供に向けた計画づくりや受入体制の整備



Uni-voiceコードによる多言語解説



ビジターセンター・展望台等の利用施設の整備やデジタル展示の導入



新宿御苑の既存休憩施設の改修後（イメージ）

お問合せ先： 環境省自然環境局総務課：03-5521-8672 / 国立公園課：03-5521-8277 / 国立公園利用推進室：03-5521-8271
 / 自然環境整備課：03-5521-8280 / 野生生物課：03-5521-8282